

島根被害者サポートセンター

# ニュースレター

Vol.20



コハクチョウ (安来市)

## やさしさで つなぐ 広がる 支援の輪

当センターは、民間の被害者支援団体として、犯罪の被害者、  
そのご家族等に寄り添いながら途切れのない支援に当たります。

支援  
活動

- 電話・メール相談、面接相談
- カウンセリング
- 法律相談
- 病院、裁判所、行政機関等への付き添い支援
- 生活支援
- 関係機関と連携した支援 など

相談専用電話(通話料無料・研修を積んだ相談員が対応します。) (こころのすくい)

相談時間 10:00~16:00(平日のみ) **0120-556-491**

島根県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体  
公益社団法人 **島根被害者サポートセンター**

## ～御挨拶～



島根県警察本部長  
今村 剛

島根被害者サポートセンター及び会員の皆様には、平素より被害者支援活動をはじめ、警察活動全般にわたり御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、貴センターにおかれましては、従来からの被害者支援活動に加え、昨年、新たに、犯罪被害に遭われた方やその御家族、御遺族からの負担を軽減するため、電子メールでの相談対応を始められたほか、県西部における被害者支援の充実に向け、浜田市において「一日面接相談所」を開設されるなど、被害者支援活動の更なる充実に取り組まれておりその御尽力に対し深く敬意を表します。

最近の本県における犯罪情勢は、刑法犯認知件数の減少傾向が継続し、一定の治安水準が維持されている一方で、社会に不安を与える凶悪な事件が発生しており、犯罪被害者等の方々、心身に深い傷を負い苦しんでおられることも事実であります。

犯罪被害者等の方々、被害直後から犯罪行為による直接的な被害のほか、二次的被害など様々な問題に苦しめられます。犯罪被害者等が抱える様々な負担の早期軽減は、警察に課された大きな責務であり、犯罪被害者等が直面する問題に更に迅速かつ柔軟に対応していく必要があると考えています。

しかしながら、犯罪被害者等の心情に配慮した細やかな支援を行っていくには、警察などの公的機関だけでは十分といえず、貴センターによる専門的な支援活動の重要性がますます高まっているところです。

警察といたしましては、貴センターをはじめ会員の皆様との連携を更に強化し、被害者の視点に立った「途切れることのない支援」を充実させてまいりたいと考えておりますので、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、島根被害者サポートセンター及び会員の皆様の今後益々の御発展を祈念申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

## 一日面接相談所を開設

～一人で悩まないでご相談ください～

平成30年7月から浜田市において、月に1回「一日面接相談所」を開設しています。

島根県西部地区にお住まいの、犯罪や交通事故の被害に遭われた方、そのご家族等からのご相談にお応えします。

### 【当面の開設月日】

1月22日（第4火曜日）

2月26日（第4火曜日）

3月26日（第4火曜日）

【相談時間】 12:00～16:00

### 【開設場所】

島根県立西部総合福祉センター

いわみーる3F相談室

（浜田市野原町/1826-1 浜田ICから車で10分）

### 【予約】

0120-556-491 又は 0852-32-5928



## 【全国共通ナビダイヤルのお知らせ】

島根被害者サポートセンターが加盟する公益社団法人全国被害者支援ネットワークでは、加盟団体の電話相談業務を補完するため、平成30年4月から「犯罪被害者等電話サポートセンター」を開設しています。

当センターの電話受付時間（10:00～16:00）外や、土日・祝日でも相談に対応しています。

## 全国共通ナビダイヤル

なやみはここよ  
**0570-783-554**

受付時間 7:30～22:00  
（12/29～1/3を除く）

ナビダイヤルで受けた相談は、相談者の意向に応じて当センターに引き継がれます。



# ～被害者支援を考える講演会の開催～



平成30年11月10日（土）松江市のくにびきメッセにおいて、闇サイト殺人事件のご遺族、磯谷富美子さんをお招きし「平成30年度被害者支援を考える講演会」を開催しました。磯谷さんは「闇サイト殺人事件の被害者遺族となつて」と題して講演され、被害者の置かれている立場や理不尽さ、司法に対する想いを語られました。

たくさんの方にご来場いただき、被害者支援について、改めて考えていただくきっかけとなったと思います。

2007年8月、名古屋市で闇サイトを通じて集まった3人の男達によって、最愛の娘利恵さん（当時31才）が殺害されました。キャッシュカードの暗証番号を聞き出そうと執拗に暴力を振るう男達に屈せず、嘘の暗証番号「2960（にくむわ）」を残して逝ってしまった利恵さん。磯谷さんは、利恵さんの無念を晴らそうと立ち上がり被告人の極刑を求めて署名活動に奔走、5年間で332,806名の署名を集めました。

判決は、磯谷さんの望む結果とはなりませんでしたが、現在は「国民の皆さまに犯罪被害者の置かれた状況を正しく理解していただき、司法のあり方について考えていただく機会にしてほしい」との思いで全国各地で講演活動をされています。

## 聴講された方の感想～抜粋～

- 今回初めて犯罪被害者ご遺族のお話をお聞きしました。マスコミ報道などでは伝えきれない御遺族の方の感情を今回の講演会で知り、また考えさせられました。（20代男性）
- 想像を絶する被害者遺族の置かれた状況に言葉を失いました。司法制度が一日も早く、被害者と遺族の人権を守る公正なものになることを、心より願います。（50代女性）
- 遺族の方が大変な思いをされていることを再認識させられました。自分に何が出来るかわかりませんが、出来ることからやっと思っています。（40代男性）
- 司法の無情を思いました。殺人事件における刑の量刑は被害者の数ではなく、犯行の悪質性等をもっと重視すべきだと強く思いました。（60代女性）





## 犯罪被害者週間（11/25～12/1）の取り組み

### 〈島根県立図書館におけるパネル等展示〉



11/17(土)～12/5(水)の間、島根県立図書館において、県・県警と共催で「犯罪被害者支援パネル展」を開催しました。

被害者支援の大切さを訴えるパネル展示や、県立図書館所蔵の被害者支援関連書籍のほか、交通犯罪被害者ご遺族である江角由利子さんから提供いただいたオブジェ、書籍等を展示しました。

また11月16日(金)には江角弘道さんによる講演会を開催し、被害者支援の重要性についての理解を求めました。

### 〈街頭広報&書道パフォーマンス〉

11月23日(金)、イオン松江店において、県警と協働で街頭広報及び書道パフォーマンスを行いました。書道パフォーマンスでは、島根大学書道部の皆さんに、犯罪被害者週間の標語などを書いていただきました。ダイナミックな筆さばきにより、作品が出来上がるとたくさんの方々から大きな拍手が沸き起こりました。



### 〈島根県民会館におけるパネル展〉

11/28(水)～12/3(月)の間、島根県民会館1階プロムードギャラリーにおいて、パネル展を開催しました。交通犯罪被害者遺族の手記や「命の大切さを学ぶ教室」の授業風景、書道パフォーマンスの作品展示などを通して、被害者支援について周知を図りました。





## 「しまね人権フェスティバル2018」へ参加



10月21日(日)に江津市総合市民センター(ミルキーウェイホール)において開催された「しまね人権フェスティバル2018」に参加しました。

島根県環境生活総務課、島根県警察広報県民課とともに、「犯罪被害者等支援啓発ブース」を設け被害者支援に対する理解と協力を呼びかけました。



人権イメージ  
キャラクター達

## 関係機関との連携を深めるために～各種会議等へ参加～

### 被害者支援地域ネットワークへの出席

県下の各地域単位で、警察署を中心とした被害者支援地域ネットワークが結成されています。本年は、県下4地区の地域ネットワーク総会に森山事務局長が出席し、当センターの支援活動を紹介し理解と協力を求めました。

- ・ 7月13日 浜田地区被害者支援ネットワーク
- ・ 10月2日 犯罪の被害者を支援する益田・鹿足ネットワーク
- ・ 11月20日 雲南地区被害者支援ネットワーク
- ・ 11月21日 やすぎ地区被害者支援ネットワーク



### 中国・四国ブロック事務局長会議 (日時:9月7日(金) 会場:島根県民会館)

平成30年度第1回中国・四国ブロック事務局長会議が開催されました。

各県センターの重点課題や取組みの発表のほか、忌憚のない意見交換が行われました。



### 「市町村犯罪被害者等支援施策担当者会議」(日時:9月12日(水) 会場:島根県市町村振興センター)

島根県環境生活総務課 吾郷課長から、都道府県・政令指定都市犯罪被害者等施策主幹課室長会議の伝達が行われ、島根県警察、島根県女性相談センター及び当センターから、それぞれの活動状況を紹介。最後に被害者遺族 加藤裕司氏の講演が行われました。

### 「第21回島根県被害者支援連絡協議会総会」(日時:11月7日(水) 会場:島根県職員会館)

冒頭、会長である県警察本部 齋藤警務部長の挨拶があり、その後、事前に行われたシミュレーション訓練結果の発表、各支援機関の活動状況の発表等がありました。当センターからは森山事務局長が、浜田市における一日面接相談所の開設などについて紹介しました。

## 各種研修会への参加

### 全国犯罪被害者支援フォーラム2018・秋期全国研修会へ参加

10月12日(金)から14日(日)までの間、東京で開催された全国犯罪被害者支援フォーラム及び秋期全国研修会に当センターから4名が参加しました。「被害者支援のあゆみと、これからの支援に向けて」をテーマとしたフォーラムでは、犯罪被害者遺族である加藤裕司氏による講演及びパネルディスカッションを聴講、研修会では各分科会に分かれ研修を受講しました。

### 中国・四国ブロック質の向上研修会(上半期)

9月8日(土)・9日(日)の両日、松江市において、全国被害者支援ネットワーク主催による質の向上研修会(上半期)が開催され、中国・四国9県から受講生約40名の方々が集まりました。

研修会ではプログラムに基づき各講師から「支援者の自己理解」、「支援に関する法律・制度」、「直接支援の実際」等について学びました。

今回は4年ぶりの地元開催となりましたが、会場は終始熱気に溢れ、実りある研修会となりました。



### 部内研修会の開催

当センターでは毎月一回、支援活動員に関する部内研修を行っています。12月には、みやざき被害者支援センターから全国被害者支援ネットワーク認定コーディネーター大野さおり氏を講師にお迎えし、「みやざき被害者支援センターの活動状況」と題した研修を受講しました。



### 平成30年度被害者支援活動員養成講座の開催

6月から8月までの間、計5日間(13講座)の日程で開催しました。

今年度は11名の方が受講され、被害者支援に関する基礎的な知識を学ぶことができました。県警をはじめ関係機関から専門家の方を講師として派遣していただき大変お世話になりました。

### ～受講者の感想～

- 被害者に対する支援は、常に被害者の傍に寄り添いながら一緒に最適な問題の解決方法を探していくことであり、とても難しい活動であることを実感した。
- どのような形の支援であっても自分なりに対象者のニーズを把握し、「頭は冷たく(冷静に)、心は温かく」をモットーに支援活動に努めてゆきたいと思う。
- 支援に自信を持つためには、多くの被害者の声に傾聴し、そして誠心誠意向き合い、かつ自分自身が常に学んでゆくことが必要であると感じました。



# 「命の大切さを学ぶ教室」の開催



河南中学校 講師 江角弘道さん(島根)  
演題「亡くなった娘からの生命のメッセージ」



大田第二中学校 講師 一井彩子さん(大阪)  
演題「命の大切さを考える～子どもたちを被害者にも加害者にもしないために」

当センターでは、島根県警察と協働して、県内の中学・高校生の皆さんに、犯罪被害の悲惨さや命の大切さについて理解を深めてもらうことを目的に、犯罪被害者ご遺族を講師に招き、「命の大切さを学ぶ教室」を開催しています。

教室では、ご遺族が受けた様々な痛み、子供を亡くした親の思い、あるいは命の大切さなどを訴え、これにより子ども達自身に、命を大切にすることの大切さを自覚させるとともに、いじめや暴力を無くすなどの規範意識の浸透を図っています。

## 受講した生徒の皆さんの感想

- 「うざい」「死ね」「消えろ」などの言葉を何も考えずに使っていましたが、これからは使わないようにしたいと思います。(中学生)
- 「命を大切にすること」ということは何回も耳にし、知っているつもりでいました。今回の授業で、本当の意味での命の大切さを理解できたような気がします。(高校生)
- 昨年、高校生の兄が病気で亡くなりました。大切な人を亡くした辛い気持ちはよくわかります。私も兄の分まで一生懸命生きようと思います。(高校生)
- テレビでは毎日のように、事件や事故に巻き込まれて人が亡くなったというニュースが流れています。これまでは自分とはかけ離れたところで起こっているものだとずっと思っていました。講演を聴いて、いつ誰が犯罪の被害者になるかわからないと思いました。(中学生)
- 「加害者がいなくなれば被害者は生まれない」という言葉が胸に響きました。(高校生)

## 平成30年度 「命の大切さを学ぶ教室」の開催状況

開催日	開催校	講師	開催日	開催校	講師
4/25	大田第二中学校	一井彩子さん	7/12	大田西中学校	三浦由美子さん
5/1	浜田第二中学校	市原千代子さん	7/19	出雲農林高校	江角弘道さん
6/11	島根中央高校	江角弘道さん	7/19	浜田商業高校	一井彩子さん
6/11	松江西高校	高松由美子さん	7/20	三刀屋高校掛合分校	一井彩子さん
6/27	松江第四中学校	市原千代子さん	9/28	開星中学校・高校	江角由利子さん
6/28	松江第一中学校	市原千代子さん	11/7	出雲西高校	江角弘道さん
6/29	河南中学校	江角弘道さん	12/10	安来高校	江角弘道さん
7/2	西の島中学校	江角由利子さん		計	15校

## ご寄附をいただきありがとうございました

(H30年8月~12月)

- 島根県警察職員互助会 様
- まるなか建設(株) 様
- 島根県自動車整備振興会 様



まるなか建設株式会社様  
(H30.12)

## 被害者支援自動販売機を設置していただきました

(H30年8月~12月)



まるなか建設(株)  
玉湯工事現場

### 【被害者支援自動販売機の設置に協力いただいている企業様】

~ご協力いただき、誠にありがとうございました~

- アシード(株)
- (株) アペックス西日本
- (株) 光ベンディング
- (株) キリンビバックス
- コカ・コーラボトラーズジャパン(株)
- ネオス(株)
- 森田製菓(株)
- (有) 日本海商事

### 【被害者支援自動販売機】設置のお願い

売上げの一部が寄附される「被害者支援自動販売機」の設置にご協力ください。

設置していただける事業所、団体様にはご説明に伺いますのでご連絡ください。

皆様の温かいご支援をお待ちしております

## 賛助会員への入会・ご寄附のお願い

当センターの活動は、皆様から寄せられる会費・ご寄附により支えられています。

活動に賛同していただける賛助会員を募集しております。ご入会いただける方は事務局までご連絡ください。賛助会員申込書及び振込用紙をお送りします。

### 【賛助会員年会費】

- \* 個人 1口 2,000円
- \* 法人・団体 1口 10,000円

賛助会費や寄附は、税制上の優遇措置が受けられます。

口座名義：公益社団法人島根被害者サポートセンター

- 山陰合同銀行 県庁支店(普通) 3641702
- 島根銀行 本店(普通) 0720538
- 鳥取銀行 松江支店(普通) 0051582

(いずれの口座も口座名義は同じです)

### 法人の場合

一般寄附金の損金算入限度額とは別に、別枠の損金算入額が設けられており、その限度額までの寄附金額を損金に算入できます。

### 個人の場合

〈所得税〉「所得控除制度」又は「税額控除制度」のいずれかの制度を選択できます。

〈住民税〉県民税及び市町村のうち条例指定されている市町村民税について税額控除の対象となります。

## ホンデリング

~本でひろがる支援の輪~

あなたの本が、犯罪被害に遭って苦しんでいる方々への支援活動へつながります。犯罪被害に遭われた方が安心して生活を取り戻せるように、力を貸して下さい。



- 古本を寄贈
- 5冊から送料無料
- 古本の集荷・仕分け・査定
- VALLE BOOKS
- 株式会社バリュースタッフ
- http://www.vallebooks.jp
- 買い取り金額の寄付
- 犯罪被害に遭われた方々への支援活動に活用
- 支
- 島根県内 犯罪被害者支援ネットワーク
- 各県支援センターへ
- 公益社団法人 島根被害者サポートセンター

### 発行・編集

公益社団法人  
島根被害者サポートセンター



〒690-0011 松江市東津田町 1741-3  
TEL 0852-32-5928  
FAX 0852-33-7928  
e-mail info@shimane-vsc.or.jp  
HP http://www.shimane-vsc.or.jp